



2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年11月11日

上場会社名 株式会社 アイ・テック

上場取引所 東

コード番号 9964 URL <http://www.itec-c.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大畑 大輔

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長兼経理部長 (氏名) 伏見 好史

TEL 054-337-2001

四半期報告書提出予定日 2020年11月13日

配当支払開始予定日

2020年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	34,272	25.8	304	89.6	311	90.2	208	90.1
2020年3月期第2四半期	46,196	6.6	2,930	45.7	3,170	32.7	2,111	33.5

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 251百万円 (88.3%) 2020年3月期第2四半期 2,141百万円 (39.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	21.94	21.89
2020年3月期第2四半期	193.23	192.48

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	64,161	30,942	47.9	3,377.03
2020年3月期	67,784	34,221	50.0	3,089.44

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 30,744百万円 2020年3月期 33,885百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		25.00		25.00	50.00
2021年3月期		15.00			
2021年3月期(予想)				15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	70,000	16.0	670	82.8	770	82.1	472	82.7	52.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	11,300,000 株	2020年3月期	11,300,000 株
期末自己株式数	2021年3月期2Q	2,196,126 株	2020年3月期	331,926 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	9,520,631 株	2020年3月期2Q	10,925,755 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、将来の業績等は様々な要因により、大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大による外出自粛・休業要請等に加え、4月の緊急事態宣言の発令・対象地域拡大の影響により、個人消費や企業活動は著しく制限され景気は急速に悪化いたしました。5月には緊急事態宣言は解除され、流行と収束を繰り返しながらも徐々に経済活動は回復に向かっているものの、これから冬に向けて再び流行が懸念される中、一定の経済活動制限や自粛要請が続き、先行きは不透明な状況が続いております。

当鉄鋼流通加工業界におきましては、昨年未頃より、海外鋼材市況低迷の影響等からスクラップ価格は下落し、国内鋼材市況においても下落傾向となった事に加えて、オリンピック関連投資と首都圏の再開案件の端境期となり鋼材の荷動きは徐々に悪化していく中、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による実体経済活動の低迷から、更に鋼材価格は下落を続け、需要は減退しました。しかしながら、6月のスクラップ価格の反転と国内鉄鋼メーカーの値上げ発表から、販売価格は底打ちしたものの、需要減退から反転には至らず、今後の動向を注意深く見守ってまいります。なお、出荷量の回復には、今しばらく時間を要するものと考えております。

このような環境下にあります当社グループ(当社及び連結子会社)は、各地域において、地道な営業活動により販売エリアの拡大・シェアアップを図っておりますが、販売先でありますゼネコンやファブリケーターは、大型物件等の工期の長い案件につきましては、スケジュールに沿ってある程度の仕事量は確保しているものの、地方の中小物件等につきましては設備投資の中止や延期等から仕事量は非常に少なくなっております。

このような状況から、鋼材の販売・加工事業につきましては、販売量は前年同期を下回る結果となった事に加え、販売単価につきましても大幅に下落している事から、販売金額は前年同期を大きく下回る結果となりました。なお、鉄骨工事請負事業は、民間設備投資はこのところ弱含んでおり、受注活動は厳しさを増しております。工事売上額につきましては、工事完成基準適用の中小物件の売上高は増加したものの、工事進行基準適用の大型物件の売上高は前年同期にはオリンピック関連施設等により大幅増加となっていた事から、反動減となり大幅な減少となりました。これらの結果から当第2四半期連結累計期間の売上高は34,272百万円(前年同期比25.8%減)となりました。

収益面におきましては、鋼材の販売・加工事業は、販売量の減少に加え、国内鋼材市況は急速に下落した事から、特に在庫出荷品については、高止まりした簿価の在庫を市中価格にて販売する事から収益率は急速に悪化し、収益確保は非常に厳しくなっております。鉄骨工事請負事業は、工事完成のタイミングや工事の進捗により売上高は大幅に減少したものの、今のところ個別の収益性については大きな低下等は見られず、厳しさはあるものの収益確保はできました。これらの結果から当第2四半期連結累計期間の営業利益は304百万円(前年同期比89.6%減)となりました。また、営業外損益につきましては、為替差益41百万円、デリバティブ評価損42百万円の発生等により経常利益は311百万円(前年同期比90.2%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は208百万円(前年同期比90.1%減)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① 鋼材の販売・加工事業

鋼材の販売・加工事業は、建築関連の民間設備投資は新型コロナウイルス感染症の影響等による企業収益の悪化を背景にこのところ弱含みで推移しております。新規物件の発生も減少しており、鋼材需要は弱く、荷動きも低迷しております。このような状況の中、売上高は販売量・販売金額共に前年同期を下回る結果となりました。

品種別に見ますと、当社主力のH形鋼は従来からの建築向けに加えて、土木向けにつきましても販売量・販売金額共に前年同期を下回る結果となりました。その他条鋼につきましては、自社製品でありますC形鋼、カクパイプが堅調に推移した事に加え、鋼矢板、異形棒鋼等も好調だったものの、H形鋼の減少を補うことはできず販売量・販売金額共に前年同期を下回る結果となりました。また、鋼板類は、土木向けの敷板等は前年同期を大幅に上回りましたが、建築向けの切板及び切断用母材等は低迷しました。なお、当社にて製造販売をしている合成スラブ用デッキとフラットデッキ等は新型コロナウイルス感染症の影響等から工事現場での作業工程の遅れや中小物件の減少等により出荷量が伸び悩みました。これらの結果、販売量・販売金額共に前年同期を下回りました。鋼管類は、在庫出荷のロール成形コラム、物件対応のプレス成形コラム共に伸び悩み、販売量・販売金額共に減少となりました。以上の結果から、売上高は28,846百万円(前年同期比17.3%減)、営業利益は鋼材市況下落の影響を受け、収益率は急速に悪化している事から324百万円(前年同期比80.0%減)となりました。

② 鉄骨工事請負事業

鉄骨工事請負事業は、民間設備投資はこのところ弱含みで推移しており、首都圏を中心とした再開発や大型物件につきましては、オリンピックの延期に伴い工程の変更等はあるものの、総じて計画通りに進むものと考えられますが、地方の中小物件等については中止や延期等もあり、厳しい状況となってまいりました。売上高につきましては、受注物件の規模が若干小さくなっており、工事完成基準適用の中小物件は増加となったものの、工事進行基準適用の大型物件はオリンピック関連物件が一巡した事に加え、進捗物件の減少等もあり、売上高は5,306百万円(前年同期比52.7%減)となりました。また、収益につきましては、引き続き工事管理部門の強化や鉄骨加工子会社の原価低減は進めているものの、売上高の減少が影響し営業利益は312百万円(前年同期比80.6%減)となりました。

③ その他

その他は、運送業及び倉庫業であり、運送業についてはグループ内の輸送が減少する中、グループ外の鉄骨製品輸送を積極的に行った事から売上高は前年同期を上回る結果となりました。また、倉庫業については取扱量の減少から売上高は前年同期を下回る結果となりました。これらにより売上高は119百万円(前年同期比2.6%増)、営業利益は42百万円(前年同期比67.2%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は64,161百万円(前連結会計年度末は67,784百万円)となり、3,622百万円減少しました。主な要因は、受取手形及び売掛金の減少2,009百万円、商品及び製品の減少1,495百万円、原材料及び貯蔵品の減少584百万円及び減価償却等による有形固定資産の減少165百万円等によるものであります。

(負債の部)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は33,219百万円(前連結会計年度末は33,563百万円)となり、343百万円減少しました。主な要因は、買掛金の減少519百万円、未払法人税等の減少315百万円、未払消費税等の減少931百万円及び長期借入金の減少280百万円等がありましたが、短期借入金の増加1,600百万円等により一部相殺されたものであります。

(純資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は30,942百万円(前連結会計年度末は34,221百万円)となり、3,278百万円減少しました。主な要因は、配当金の支払い等による利益剰余金の減少66百万円、自己株式の取得による自己株式の増加3,109百万円及び子会社株式の取得による非支配株主持分の減少112百万円等であります。この結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は47.9%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ103百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末には7,744百万円(前年同期比82.5%増)となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は2,883百万円(前年同期比15.4%減)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益377百万円に加え、減価償却費617百万円、売上債権の減少額2,012百万円及びたな卸資産の減少額1,817百万円等がありましたが、仕入債務の減少額519百万円、未払消費税等の減少額944百万円及び法人税等の支払額504百万円等により一部相殺されたものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は511百万円(前年同期比256.4%増)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出386百万円及び保険積立金の積立による支出133百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は2,272百万円(前年同期比7.1%増)となりました。これは主に、自己株式取得による支出3,175百万円、配当金の支払額284百万円、長期借入金の返済による支出280百万円等がありましたが、短期借入金の純増加額1,600百万円により一部相殺されたものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の業績予想につきましては、2020年8月7日の「2021年3月期 業績予想および配当予想の公表に関するお知らせ」にて公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,696,140	7,769,142
受取手形及び売掛金	21,336,375	19,326,550
商品及び製品	9,301,963	7,806,018
原材料及び貯蔵品	3,101,001	2,516,393
未成工事支出金	3,038,013	3,301,289
その他	276,788	369,983
貸倒引当金	△6,500	△30,362
流動資産合計	44,743,783	41,059,015
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	16,892,419	16,936,782
減価償却累計額	△9,174,767	△9,369,156
建物及び構築物(純額)	7,717,651	7,567,626
機械装置及び運搬具	9,312,222	9,462,158
減価償却累計額	△6,648,190	△6,969,852
機械装置及び運搬具(純額)	2,664,032	2,492,306
土地	10,712,058	10,712,058
リース資産	33,069	33,069
減価償却累計額	△29,800	△31,356
リース資産(純額)	3,268	1,712
建設仮勘定	191,730	327,002
その他	465,279	503,848
減価償却累計額	△404,615	△420,865
その他(純額)	60,663	82,983
有形固定資産合計	21,349,405	21,183,690
無形固定資産	79,572	76,178
投資その他の資産		
投資有価証券	450,879	483,743
関係会社株式	1,000	1,000
関係会社出資金	38,375	38,375
保険積立金	563,701	678,313
繰延税金資産	132,503	170,472
その他	487,680	531,162
貸倒引当金	△62,626	△60,217
投資その他の資産合計	1,611,513	1,842,848
固定資産合計	23,040,491	23,102,718
資産合計	67,784,275	64,161,733

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	10,134,277	9,615,054
短期借入金	12,500,000	14,100,000
1年内返済予定の長期借入金	561,600	561,600
リース債務	16,718	7,808
未払法人税等	571,377	255,804
未払消費税等	1,225,304	293,426
賞与引当金	394,942	330,692
役員賞与引当金	46,487	41,631
未成工事受入金	1,338,085	1,613,609
その他	1,019,184	903,754
流動負債合計	27,807,976	27,723,381
固定負債		
長期借入金	2,417,600	2,136,800
リース債務	9,804	6,818
繰延税金負債	854,693	851,927
役員退職慰労引当金	102,249	106,681
退職給付に係る負債	1,746,831	1,770,073
その他	624,093	623,680
固定負債合計	5,755,274	5,495,980
負債合計	33,563,250	33,219,361
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,948,829	3,948,829
資本剰余金	4,124,294	4,125,190
利益剰余金	26,467,863	26,401,382
自己株式	△418,924	△3,528,517
株主資本合計	34,122,062	30,946,884
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△59,922	△38,535
繰延ヘッジ損益	—	1,316
退職給付に係る調整累計額	△176,953	△165,568
その他の包括利益累計額合計	△236,876	△202,786
新株予約権	40,129	15,121
非支配株主持分	295,709	183,153
純資産合計	34,221,024	30,942,372
負債純資産合計	67,784,275	64,161,733

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	46,196,476	34,272,829
売上原価	39,232,158	30,391,367
売上総利益	6,964,317	3,881,461
販売費及び一般管理費		
運賃及び荷造費	938,593	775,634
貸倒引当金繰入額	—	21,978
給料手当及び賞与	992,482	931,501
賞与引当金繰入額	237,956	171,544
役員賞与引当金繰入額	46,487	40,131
退職給付費用	73,999	69,094
役員退職慰労引当金繰入額	3,470	4,431
減価償却費	291,870	268,735
その他	1,448,982	1,293,809
販売費及び一般管理費合計	4,033,842	3,576,861
営業利益	2,930,475	304,600
営業外収益		
受取利息	510	258
受取配当金	7,734	7,053
仕入割引	10,685	13,717
受取賃貸料	40,486	23,448
為替差益	99,961	41,685
貸倒引当金戻入額	41,555	—
受取保険金	150,403	28
その他	25,753	18,629
営業外収益合計	377,091	104,820
営業外費用		
支払利息	29,110	26,896
デリバティブ評価損	84,683	42,819
固定資産除却損	9,922	66
災害による損失	—	16,492
その他	13,824	11,563
営業外費用合計	137,539	97,838
経常利益	3,170,028	311,581
特別利益		
補助金収入	—	65,761
特別利益合計	—	65,761
税金等調整前四半期純利益	3,170,028	377,342
法人税、住民税及び事業税	878,216	217,603
法人税等調整額	147,567	△57,486
法人税等合計	1,025,784	160,116
四半期純利益	2,144,243	217,226
非支配株主に帰属する四半期純利益	33,028	8,340
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,111,214	208,885

（四半期連結包括利益計算書）
（第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2020年4月1日 至 2020年9月30日）
四半期純利益	2,144,243	217,226
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△17,058	21,387
繰延ヘッジ損益	—	1,316
退職給付に係る調整額	14,496	11,385
その他の包括利益合計	△2,562	34,089
四半期包括利益	2,141,680	251,315
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,108,652	242,975
非支配株主に係る四半期包括利益	33,028	8,340

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,170,028	377,342
減価償却費	688,403	617,204
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△41,555	21,453
賞与引当金の増減額(△は減少)	21,640	△64,250
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△4,873	△4,855
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	3,470	4,431
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	26,226	36,281
受取利息及び受取配当金	△8,245	△7,311
支払利息	29,110	26,896
為替差損益(△は益)	△21,919	△4,038
有形固定資産除却損	9,922	66
デリバティブ評価損益(△は益)	84,683	42,819
受取保険金	△150,403	△28
補助金収入	—	△65,761
売上債権の増減額(△は増加)	602,509	2,012,234
たな卸資産の増減額(△は増加)	1,213,749	1,817,277
その他の流動資産の増減額(△は増加)	530,161	△132,356
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,592,177	△519,222
未払消費税等の増減額(△は減少)	568,635	△944,175
未成工事受入金の増減額(△は減少)	249,575	275,523
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△86,610	△148,317
その他	22,116	2,420
小計	4,314,445	3,343,635
利息及び配当金の受取額	8,245	7,311
利息の支払額	△29,322	△28,194
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△1,036,870	△504,772
補助金の受取額	—	65,761
保険金の受取額	150,403	28
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,406,902	2,883,770

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△21,183	△24,784
定期預金の払戻による収入	19,381	22,983
有形固定資産の取得による支出	△155,965	△386,995
有形固定資産の売却による収入	2,437	8,150
投資有価証券の取得による支出	△772	△600
投資有価証券の売却による収入	1,000	—
固定資産の除却による支出	△9,906	—
短期貸付金の純増減額(△は増加)	30	545
長期貸付金の回収による収入	192	128
保険積立金の積立による支出	△41,657	△133,021
保険積立金の払戻による収入	64,407	14,691
その他	△1,614	△13,037
投資活動によるキャッシュ・フロー	△143,648	△511,940
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,500,000	1,600,000
長期借入金の返済による支出	△280,800	△280,800
配当金の支払額	△327,358	△284,526
自己株式の取得による支出	—	△3,175,474
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△120,000
リース債務の返済による支出	△14,406	△11,896
その他	27	29
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,122,536	△2,272,667
現金及び現金同等物に係る換算差額	21,919	4,038
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,162,636	103,200
現金及び現金同等物の期首残高	3,081,670	7,641,757
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,244,306	7,744,958

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年5月14日開催の取締役会決議に基づき、2020年5月15日付で、自己株式1,916,400株の取得を行いました。この結果、第1四半期連結会計期間において自己株式が3,175,474千円増加しました。また、当第2四半期連結会計期間において、譲渡制限付株式報酬及び新株予約権の権利行使としての自己株式の処分により65,881千円減少し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式は3,528,517千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	鋼材の販売 ・加工事業	鉄骨工事 請負事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	34,869,362	11,210,891	46,080,254	116,222	46,196,476	—	46,196,476
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,496,690	30,436	1,527,127	1,296,081	2,823,208	△2,823,208	—
計	36,366,052	11,241,328	47,607,381	1,412,303	49,019,685	△2,823,208	46,196,476
セグメント利益	1,625,400	1,608,997	3,234,398	25,200	3,259,598	△329,123	2,930,475

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業のセグメントであり、運送事業及び倉庫事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△329,123千円には、セグメント間取引消去151,240千円、全社費用△480,363千円が含まれております。全社費用は、主に当社の本社管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	鋼材の販売 ・加工事業	鉄骨工事 請負事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	28,846,676	5,306,912	34,153,588	119,240	34,272,829	—	34,272,829
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,116,859	47,618	1,164,477	1,031,112	2,195,589	△2,195,589	—
計	29,963,535	5,354,530	35,318,066	1,150,352	36,468,419	△2,195,589	34,272,829
セグメント利益	324,822	312,421	637,244	42,147	679,391	△374,791	304,600

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業のセグメントであり、運送事業及び倉庫事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△374,791千円には、セグメント間取引消去33,601千円、全社費用△408,392千円が含まれております。全社費用は、主に当社の本社管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。